

令和6年6月6日（木曜日）

見坂茂範氏に推薦状 25年夏の参院選 職域代表者

全国建設業協会（全建、今井雅則会長）は4日、東京都千代田区の経団連会館で開いた理事会で、前国土交通省近畿地方整備局長の見坂茂範氏を2025年夏の参院選の職域代表者に推薦すること

を決めた。同日の総会後、今井会長が見坂氏に推薦状を手渡した。見坂氏は「今まで国交省という役所の立場で建設業にいたが、今後は建設業界の立場で必要に応じて国交省にも物申すという意気込みだ。厳しい局面で建設業のために一生懸命やっていきたい」と語った。今井会長は「建設業界が誰に頼れば良いのかと考えた時、見坂氏には発信力がある。中核として活躍してもらいたい」と期待を寄せた。

見坂氏は1993年に京都大学大学院工学研究科土木工学専攻を修了し、建設省（現国交省）企画部長や官房技術調査課長、近畿地方整備局長などを歴任。今年5月に退職した。



見坂氏（左）に推薦状を手渡す
今井会長

来賓として総会に出席した自民党の佐藤信秋参院議員は「全建の支援を退職した。」